

H28年度 大阪バイオメディカル専門学校 学校自己評価

評価点 5=達成している(80%以上) 4=ほぼ達成している(60%以上~80%未満)
 3=普通(40%以上~60%未満) 2=やや当てはまらない(20%~40%未満)
 1=全く当てはまらない(20%未満)

I. 教育理念・目的・育成人材像

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
I-1	教育理念は定められているか	4.8	学校綱領・学科コンセプトが講師、学生に明示されており、周知徹底されている。 確認しながら計画・実行されている 為世為人という綱領と人間力の育成という学科理念のもとに技術と人間力の育成を行っている。 為世為人、良い綱領です。技器育成も為世為人綱領を毎日朝礼時に全員で唱和している。
I-2	学校の特色が明確であるか	4.3	為世為人を綱領とし、日本文化教養学科では国際人の育成、バイオ、医療、心理、子ども心理分野から社会に貢献できる社会人の育成に努めている。 学科ごとで特色が異なる時代のニーズに合わせた授業や行事の設定、専門科目以外にも多様性のある授業を取り入れたカリキュラムを組んでいる。 学科の特色が強い改善箇所はあるが、特色はアピールできている。 少人数制でアットホームな環境で資格取得や就職を目指す学校アットホームで講師との距離が近く、個別対応により資格取得や就職の実績が高いことが特色で、HPや進学情報誌でもPRしている。
I-3	学校の中期計画を立てているか	3.6	中期の構想を議論している。 数年を見据えた議論が出来ている。 月間・年間目標を立てています。 中期の構想を議論している。 学生数増加をにらんだ改装・移転など、数年先を見据えた議論が出ている。

II. 学校運営

項目	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
II-1	運営方針は定められているか	3.6	運営方針がたてられており、教職員ミーティングで共有されている。 次年度までの方針が決定しており、それに沿った運営を遂行する姿勢がある。 運営方針は立てられており、教職員ミーティングで共有している。 毎年事業計画が定められ、それに沿った運営を心がけている
II-2	事業計画は定められているか	3.9	事業計画が話し合われており、それに沿った行動がとられている。 事業計画は各部門で共有されているが、教室問題をクリアする必要がある。 事業計画はあるが、現場への浸透がまだまだ。 事業計画は協議の上で毎年定められている。 毎年事業計画が定められ、それに沿った運営を心がけている
II-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.9	改善は見られるものの制度自体が確立されていない。 毎週ミーティングが行われ、組織として機能している。 会議での決定は学則に則り決定している。 毎週ミーティングが行われ、機能するように努めている。 組織図に基づいた運営がされているが、なかなか系統だった指揮命令にはなっていない 運営組織に関しては、効率的だと感じる。
II-4	人事や資金面での処遇に関する制度は整備されているか	3.5	明確になっていない点があり、部署によって差異がある。 理事会等も開き決定している。 今年度は徐々に整備されつつある。 人事・資金面での処遇に関する制度は整備されている。 次の年度に入った後に面談をすべきではないかと考える
II-5	意思決定システムは確立されているか	3.9	組織図及び職務分掌で役割が明確となっている。 機能している部分と機能していない部分がある。 教育・教学・法人事務局・入試広報と各組織内での役割が確立し、連携されていると思われる 組織図に基づき確立されている。 最終は理事会で決定。
II-6	情報システム化等による業務効率化が図られているか	3.6	新しいシステムが導入され共有化が図られているものの直接的に情報共有する機会の必要性を感じる。 更に効率化できるようにプロジェクトで動いている。 ある程度されているデータ運用が主であり、効率化に向けて工夫が進められている。 現在、いろいろなシステム導入を予定している過渡期である。 業務効率化を図る情報システムについては整備されているが、さらに改善の余地はあります。

III. 教育活動

項目	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
III-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4.3	「創造力・応用力を培う」をコンセプトとして社会人基礎力を学び、身につけ就職することを目標として達成している。加えて企業の人材ニーズに対応した教材の購入とそれに伴う実習を毎年更新できている。 各学科でしっかりした目標が掲げられている。 各学科で講師が努力し、その方向付けもなされているが、社会人基礎力に改善の余地がある。 業界における求められる人材について情報収集し毎年工夫している。 検討・工夫しながら進めているが、まだ完成には至っていない 主な就職先に対して、求める人物像や近年の傾向などを定期的に聞き取り、ニーズに合わせた人物の育成に向けて取り組んでいる。
III-2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4.1	社会人としての心構え、知識、技術の指導に加え、企業のニーズに対応し、専門的な機器類の導入及び、実習の導入を行っている。 目標が達成できる様、指導をしっかりと行っている。 検討・工夫しながら進めているが、まだ完成には至っていない 臨学・現場実習・教育行事を交えて、ニーズに合わせた人材になれるよう期間内での目標到達に向けたカリキュラムを設定している 目標が達成できる様、指導をしっかりと行っています。 専門職での就職率は100%近くを維持している。

Ⅲ-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4.0	基礎から応用に向けてステップアップ方式の授業体系をとっている。就職活動に向けて、実習を通して実習概要書の作成の指導を行っている。その都度見直しが行われているが、一部は入学してからの生徒の変化にも柔軟に対応していくことさらに検討が必要ではないか。国の指針等や業界の動向を見ながら毎年更新している。検討・工夫しながら進めているが、まだ完成には至っていない段階に応じてステップアップできるよう、また学生に負担のかからないように配慮されたカリキュラムを構成している資格取得、就職に向けてのカリキュラムになっているため、実習が多い
Ⅲ-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	4.0	新学科設立に伴い、実習項目の専門性を強化している。また、各科目共に目的を明示し、学生の目標達成に必要な授業時間を設定している。毎年更によりよいカリキュラムとなる様、意見を出し合い決めている。各学科において、毎年更によりよいカリキュラムとなる様、意見を出し合い決めている。実習項目を増やし多角的に指導できている。また、各科目共に目的を明示し、学生の目標達成に必要な授業時間を設定している。定期的カリキュラムの見直しを行い、科目を編成している。
Ⅲ-5	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8	座学は出席とテスト点。実習は出席とテスト点に加えて、技術、態度、知識、レポートから評価している。授業見学を実施し、各先生の評価を行っている。学科で目標シートとそれに対する評価がある。検討・工夫しながら進めている。授業評価の実施により、講師への正確な評価を与えられている各講師の授業見学と上長による評価が年2回ある。
Ⅲ-6	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.8	バックグラウンドの異なる講師の配備により、様々な角度から学生対応を出来るようにしている。要件を備えた教員を確保するため、また継続してもらうための整備が必要。カリキュラムと同様、毎年教員についても学生の声を含め、見直しを行っている。バックグラウンドの違う講師が選択され、様々な角度から学生対応を出来るようにしている。各科目において厳正に審査し実務経験豊富な講師が採用されている。現場での常勤講師の確保が難しくなってきた。
Ⅲ-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4.2	授業開始前のオリエンテーションにて学生への説明を実施し、担当教員等より学生個々への周知を徹底している。履修規定がしっかり整っている。学期に明記している。評価自体は各講師の裁量による所が大きいが評価段階の基準は明確化されている。一定の基準はあるが、講師によって成績のつけ方に差が出ることがある。
Ⅲ-8	資格取得の指導体制はあるか	4.5	目標資格に対して、各授業が設定されている。ECO検定、理科検定、QC検定、バイオ技術者認定試験対策として、別途対策授業、課外授業を行っている。常勤、非常勤講師で連携をとり、指導体制を整えている。試験対策として、別途対策授業、課外授業を行っている。アフタフォローなどを設けている。通常授業以外にも特別対策授業や再受験へのサポートなど、資格取得に向けての体制を整えている。

Ⅳ. 教育成果

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅳ-1	就職率の向上が図られている	4.4	以前から求人がある会社への内定に加え、新たな企業への参入も見込めている。就職先の開拓を含め、講師が就職先開拓にも力をいれている。面談を通して就職に向けたプログラミングや面接・書類の作成指導など細かなサポートを行い就職率の向上・安定を図っている内定・就職率は毎年100%近い企業様とのインタンの提携
Ⅳ-2	資格取得率の向上が図られている	4.4	合格率は前年より低下しているが、中級バイオ技術者認定試験において全国10位以内の成績優秀者に3名が選出されるなどの評価を得ている。医療事務総合学科では授業内での資格対策以外に、個別での対策、特講を設けており、平均15名の資格を取得。医療福祉心理学科では空き時間の個別指導などフォローがあり、昨年度国家資格である精神保健福祉士の合格率は全国一位を獲得できました。通常授業以外にも特別対策授業や再受験へのサポートなど、資格取得に向けての体制を整えている。
Ⅳ-3	退学率の低減が図られている	3.8	入学学生の学力、意欲の低下も認められる為、早急な打開策が必要と考える。担任制を設けているので、各担任が一一人の学生に目を配っている。学科長・担任が面談でフォローし、保護者とも連携をとるよう努めている。人間関係や学力面など問題のある学生に対し、面談や保護者の方との連携を図るなどサポートを行い退学率の低減に取り組んでいる進級率9割以上を確保しているが全員卒業できるよう頑張ります。
Ⅳ-4	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3.4	卒業生からの連絡・相談があった場合のみ、講師個々での支援は行われている。組織としての体制は整っていないため、早急な支援体制の構築が必要である。卒業生後も連絡をとり、状況の把握ができるよう努力している。卒業後のつながりを作っているところである内定先への訪問や連絡を通して極力把握に努めている

Ⅴ. 学生支援

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅴ-1	就職・進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4.0	1年次より学校長による社会人としての考え方、行動指針を指導しているが、学生数の増加等に伴い、新たな就職体制の整備が急務であると考え。担任、学科長を中心となり行っている。学生一人ひとりのことを踏まえて行っている。定期的に学生面談を行い、学生の状況を把握し、進級・就職に向けた指導を行っている就職率は100%近い数字を毎年維持している
Ⅴ-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.9	学生一人ひとりの個性を理解することに努めている。スクールカウンセラーがおり、担任以外にも相談する場を設けている。学科講師全体で協力して学生対応をしている。担任制によって学生へのケアを行い、また専門のカウンセラーを配置し相談を受けられるように体制を作っている。
Ⅴ-3	学生の経済的側面に対する支援制度が全体的に整備され、有効に機能しているか	4.2	奨学金取得の対応を行い、経済的に就学困難な学生にも配慮した支援体制を実施している。また、学内における奨学生制度を設けている佐藤学園奨学金制度や、特別分納制度を取り入れている。奨学金制度や分納制度に関する説明会などをこまめに行い、金銭で苦労している学生も勉学ができるように努めている学費の納入体制はもちろ輸入入学前の減免制度も充実していると考え。学費分納・延納および独自の奨学金制度があり、利用している学生も多い。二期分納制度や特別分納を認めるなど、各家庭の状況に配慮している
Ⅴ-4	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.5	毎年実施する健康診断を実施している。また、バイオ学科では、学校保健法に定められた以上の項目(血液検査)も実施している。外部のカウンセラーが定期的に配置され、プライベートな相談も守られている。健康診断の実施や保健室を設置し健康の維持を図り、カウンセラーや担任の連携のもとメンタル面での健康ケアも行っている。
Ⅴ-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.4	1年次には学校周辺の清掃、子ども理科実験教室等のボランティアの実施を行っている。定期的に学科毎に課外活動を行い、学科内の親睦・学生の満足度などに活かされているボランティアの実施を行っています。

V-6	学生寮等、学生の生活環境への支援が行われているか	3.8	提携しているマンションの紹介を行っている。 オープンキャンパス後に提携マンションの見学コースを毎回設定している。 学生マンションの案内がある仲介業者を通じ、学生マンションの紹介を行っています。 マンションの施設遠方の方には00参加時に宿泊体験を案内し、早いうちから支援をしていると思う。 また生活環境に関しても警告・啓発のチラシがobm校内に掲示されており、カウンセラーを設置するなど精神的なケアも行っている。
V-7	保護者と適切に連携しているか	3.8	平成22年度より年に1度授業参観、学科長による保護者会が実施されている。加えて、年に数回の会報誌も送付されている。 obm通信の発行等、定期的に学校全体の状況について知らせている。 学校生活において気になる学生へは、保護者の方とも密に連絡を取り、随時保護者との面談もできる体制にある。 入学前には保護者の方に来て頂き各種相談をしている。 入学決定後もプレ授業を行い保護者も参加できる体制ができている。また保護者のみで来校し学費・学校に関する質問にお答えする場が設けられている。
V-8	卒業生への支援体制はあるか	3.3	アフターフォローの実施等。 講師個々での支援は行われているが、組織としての体制は整っていないため、支援体制の構築が必要である。 卒業生対象の講座や再就職の際の支援を行っている。 在籍中、卒業後と変わらず、肝心な時には本人からの報告・相談が学科長になされる風土があります。 相談に来れば、転職・再就職の相談を受けている。

VI. 教育環境

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
VI-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.7	今年度も企業の人材ニーズに対応して、専門的な機器類の導入及び、実習の導入を行っている。 フリースペースを設け、ゆとりのある学生生活を過ごしている。 2号館ができて、満室状態から余裕状況にはなったが、フリースペース、講師スペース等、さらに改善ができればよいと思う。 レーザー顕微鏡やアミノ酸分析器など最新の設備を導入し、実践教育に必要な環境を整えている。 PC教室や実習室など必要な設備は整っている。
VI-2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4.0	内定先と学生本人の要望に合わせて、学外インターンシップに対応している。しかし、インターンシップを受けている学生に対して講師個々での支援は行われている。 実習対策授業、インターン事前指導等も随時行っており、個別指導は充実している。今後は海外研修なども展開させていく必要がある。 各学生に希望調査のもと実習先の確保を行い、実習中も訪問を行うなどして指導を行っている。 インターンからの就職が多い企業様とのインターンの提携実習対策授業を行っている。 学生の希望を考慮して実習先をマッチングし、実習中のフォロー、終了後報告会など実習の機会を有効にするための教育体制が整備されている。
VI-3	防災に対する体制は整備されているか	3.4	毎年1回全学科全学生、教職員参加による消防訓練を実施している。 人数の増加に伴いより具体的な防災に対する整備が必要と感じる。 毎年1回全学科全学生、教職員参加による消防訓練を実施している。人数の増加に伴い、より具体的な防災に対する整備が必要と感じる。 避難訓練や法定点検など、ひととりの備えはなされている。

VII. 学生の募集と受け入れ

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
VII-1	学生募集は適切に行われているか	3.9	オープンキャンパスにおいて、学校長が自ら学科説明を行われ、講師が主体となって体験授業を行い、面談は募集部と共に校長が、面接は校長が行われている。このため、来校者にとっては入学後のビジョンが分かりやすいと考える。 様々な体験授業を行い、入学後の醍醐が無いよう説明を行っている。 営業活動・情報提供には時代に合わせた方法を取っていく必要がある。 HP・ブログ・動画配信など影響力の高いツールを効果的に顧客の元に届けるべく、閲覧につながるアプローチを強化していく。
VII-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.0	オープンキャンパスにおいて、学校長が自ら学科説明を行われ、講師が主体となって体験授業を行い、面談は募集部と共に講師が行い、面接は校長が行われている。このため、来校者にとっては入学後のビジョンが分かりやすいと考える。 面談の際には誇大広告にならぬよう説明するとともに、入学後のギャップとならぬよう説明している。 定期的に先生方にもアラートをし、正確に伝えている。 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられている。 面談ツールの中で生徒の就職先、特にながりの強い企業などを例に挙げてお伝えしている。更に先生方にお話をお聞きしてより具体的に就職実績をお伝えできるようにしている。
VII-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4.0	2名で実施面接を行い評価が偏らないよう配慮し、生徒、保護者の気持ちを考え、適正に行われている。 面談や試験で適性を判断し、公平な選考を行っている。 不安な方については再面談を行うなど、双方が納得して入学する形が取られている。 面接シートに基づき、学科長・校長・理事にもご確認頂き公正に行われている。 学校全体や各学科の基準に基づき選考を行っている。 校長・入試広報部1名で面接シートに沿った質問、生徒に合わせた質問を行い行われている。
VII-4	学納金は妥当なものとなっているか	3.9	人材ニーズに対応して、専門的な機器類の導入及び、実習の導入を行っている。また、就活においても個人に対応したフォローを行っており、妥当だと考える。 学納金は専門学校業界の平均的な金額であり妥当だと考える。 学納金は教材の見積もり金額などに基き妥当なものとなっている。 学納金の詳細を生徒にお送りしていただいております保護者もそれに同意されている。

VIII. 財務

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
VIII-1	中期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4.1	学生数が年々増えてきており、財務基盤は安定している。 中期計画もたてられ計画的な運用がなされている。 安定した財務基盤が築かれている。 学生数が増えるとともに資産の効率使用が検討されており健全な運営が行われている。
VIII-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0	毎月予算の報告があり、予算管理が行われている。 予算・収支計画は妥当であり、予算計画に基づく経費使用が行われている。 各項目細かく予算がたてられており、妥当な運営が行われている。 予算作成については細部まで検討していると思われる。
VIII-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	公認会計士による定期監査が行われている。 会計事務所による監査が行われており公正妥当な監査が適正に行われている。 年1回監査を実施。 会計事務所に会計監査を依頼し、適正に行われている。

Ⅶ-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.6	監査報告書を事務所に備え付けており、利害関係者に開示されている。 事務所に監査報告書が備えられている。
-----	--------------------	-----	--

IX. 法令等の順守

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
IX-1	法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4.3	法令に沿った適正な運営が行われている。 適宜所轄庁や法律家に相談に行き、法令の遵守に努めている。 大阪府、入管の指示を適切に守っていると考える。 法令、基準については問題がないと思われる
IX-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9	個人情報は鍵つきのロッカーに納める等、取扱いについては十分配慮している。 個人情報保護に関する講習会が行われている。 個人情報保護の運営が整備されているが、現場の意見と合わない部分もある。 全体で勉強会を行い個人情報の取り扱いに対する整備・対策がとられている。 スケジュールの設置・PCのパスワードの利用等適正に行われています。 学校サイトにプライバシーポリシーも表記し、個人情報保護法に則った運営体制ができている
IX-3	(学校)自己点検・(学校)自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8	平成23年度より学校評価の記事、個人情報保護法に伴い指示があり、個人及び学科で携われる部分についての改善は行っている。 毎年、自己評価の実施を行い改善・改良に努めている。 学校自己評価の実施、会議などを行っている。 年に2度各自業務の内容の見直しを行っている。
IX-4	(学校)自己点検・(学校)自己評価の結果を公表しているか	3.8	平成23年度より自己評価を実施後集計してホームページにて公開している。 ホームページにて情報開示しており閲覧できるように公開されている。 自己評価を実施後、結果を学校のHPにて公開している

X. 社会貢献

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
X-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.8	1、2年生の休日を利用した学校周辺の清掃活動、大阪府下の小学生を対象とした子ども理科実験教室のボランティアを実施している。 多胎サークルへのボランティア活動を行い、学校の特色を活かした社会貢献を行っている。 大阪府教育委員会との提携授業(子ども理科実験教室)、高校様の校外学習の場を提供大阪市のイベントへの参加等 学科によってはボランティアなどに行かれていたり、ORCがあることによって社会貢献は行えていると感じる。 子ども理科実験・高校バスツアー・中学校向け体験授業など、進路選び、成長過程の子どもが分野の興味や夢を深めるきっかけ作りをしている。
X-2	学生のボランティア活動を推奨し、支援しているか	3.7	1、2年生の学校周辺の清掃活動、大阪府下の小学生を対象とした子ども理科実験教室のボランティアを実施している。 全校一斉に近隣の清掃、各学科でのボランティア活動等 1年生の学校周辺の清掃活動、学園祭等を利用した大阪府下の小学生を対象とした子ども理科実験教室のボランティアを実施している。 積極的に推奨しており、将来の職業像にもつなげられるようにしている 大阪マラソンクリーンアップ作戦の校舎全体としての参加のほか、学科によりボランティア清掃なども実施している。